

# 武蔵関駅前まちづくりかわら版 第1号

発行：武蔵関駅前まちづくり推進会  
練馬区西部地域まちづくり課  
平成28年9月



## 武蔵関駅前まちづくり推進会では 駅周辺のまちづくりについて検討を進めています！

- 「武蔵関駅周辺地区まちづくり構想（平成26年5月策定）」の実現に向け、駅周辺のまちづくりの具体的な検討を進めるため、平成27年10月に、練馬区の呼びかけに対して、図1の斜線の範囲の住民の公募および町会・商店会からの推薦により「武蔵関駅前まちづくり推進会」を設立しました。
- 推進会では、これまで事例見学会を含めた6回の会合において、駅周辺の道路・交通のあり方などを検討してきました。
- 今後は駅周辺のまちづくりの検討を進めるとともに、「武蔵関駅前まちづくりかわら版」を発行するなど、図1の斜線の範囲にお住まいの方々を中心に、推進会における検討内容をお知らせしていきます。よろしくお願いいたします。



推進会の様子

### 「武蔵関駅前まちづくり推進会」の これまでの経緯

#### 第1回推進会：平成27年10月21日（水）

- 推進会の設立、会則、今後のスケジュール

#### 第2回推進会：平成27年11月15日（日）

- 練馬高野台駅、大泉学園駅の見学会

#### 第3回推進会：平成28年2月16日（火）

- 武蔵関駅周辺の課題や方向性について

#### 第4回推進会：平成28年4月19日（火）

- 武蔵関駅周辺の道路・交通について①

#### 第5回推進会：平成28年6月21日（火）

- 武蔵関駅周辺の道路・交通について②

#### 第6回推進会：平成28年8月23日（火）

- 武蔵関駅周辺の商業環境について

### 図1：「武蔵関駅前まちづくりかわら版」 の配布範囲



武蔵関駅前まちづくりかわら版の配布範囲

武蔵関駅周辺地区まちづくり構想の範囲

# 武蔵関駅周辺の道路・交通について

第3回～第5回の推進会では、武蔵関駅周辺で行われる整備事業を前提条件として、武蔵関駅周辺の道路・交通について、以下のような意見がありました。

## まちづくりの検討を進める上での前提条件

- ・西武新宿線の連続立体交差化
- ・都市計画道路補助 230 号線の整備
- ・石神井川の河川改修事業

➡ 内容は 4 ページ参照

## 道路・交通の課題に関する意見

### 踏切の早期解消

- ・踏切により交通渋滞が発生し、バスの定時性が確保されていない

### バス・タクシーの利便性の向上

- ・駅前広場がないため、バス停留所が分散し、利便性が悪い
- ・タクシーの待機スペースがなく、路上で降車しているような状態

### 駅周辺の安全な歩行空間の確保

- ・歩道が整備されていないなど、歩行者の安全性が確保されていない

### 自転車の利用環境の改善

- ・連続立体交差化や補助 230 号線の整備、石神井川の河川改修事業により駐輪場を移設する必要がある
- ・駅周辺に違法駐輪が多い

## 道路・交通の方向性に関する意見

### 補助 230 号線

- ・自転車や歩行者が安心して通行できる道路の整備
- ・将来的にバスルートを、補助 230 号線をメインにする
- ・まちが分断されないような道路の整備

### 駅前広場へのアクセス道路の整備

- ・駅前広場へアクセスする道路を補助 230 号線につなげる  
(大型バスの相互通行幅員 12~15m程度)

### 駅前広場の整備

#### ●駅前広場の機能

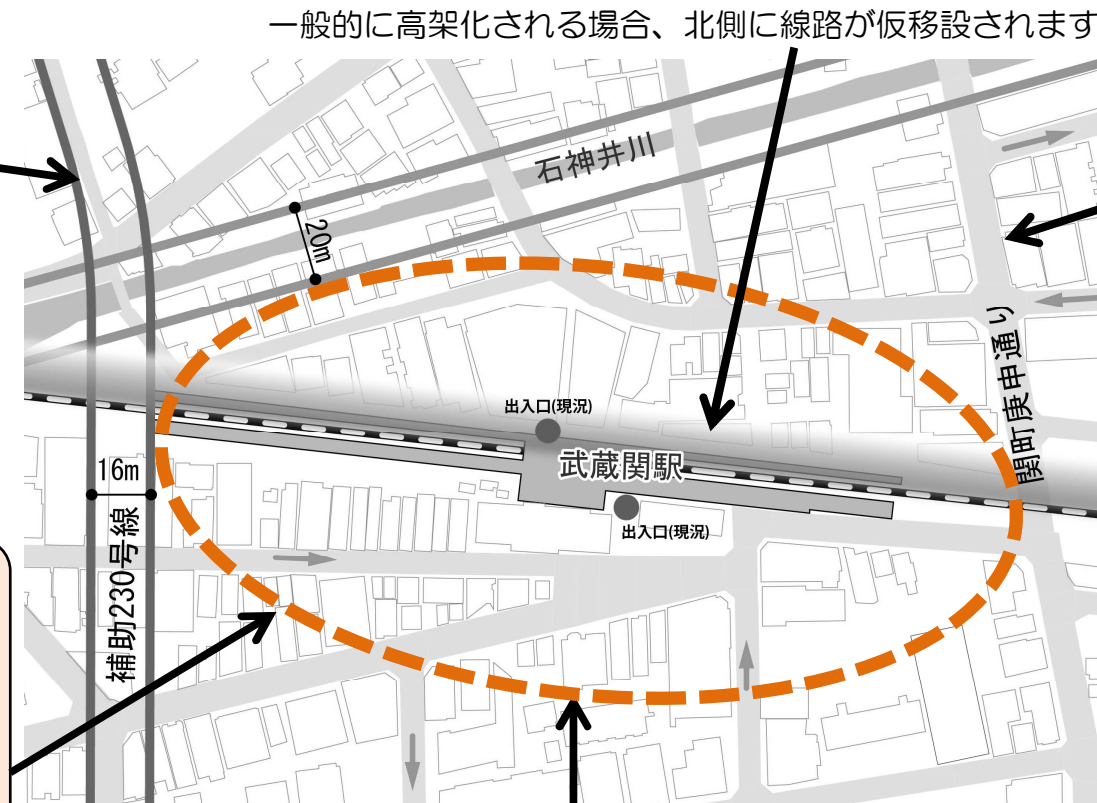
- ・バス、タクシーの乗降場を確保できる駅前広場を整備
- ・バス、タクシーの乗り入れを優先
- ・待ち合わせスペースなどの空間の確保

#### ●広場のデザイン

- ・関のボロ市など武蔵関の歴史的資源や石神井川の水とみどりを踏まえた特徴あるデザイン

#### ●駅前広場の配置

- ・駅利用者の利便性を考慮し、現在の駅出入口付近に駅前広場を配置
- ・今後の石神井川などの線路北側の整備を考えると、線路北側で駅前広場などを考えるのが妥当
- ・現在の武蔵関駅のイメージに近い線路南側の配置もよい
- ・鉄道が立体化すれば、南北をつなぐ駅前広場の可能性もある



### 関町庚申通り

- ・関町庚申通りはバス通りとして狭く危ないが、都市計画道路でないため拡幅整備は困難
- ・バスルートを補助 230 号線に変更し、歩行者の空間を確保

### 駅周辺の道路空間の改善

- ・既存の道路も含め、歩行者がゆったりと歩ける空間を確保

### 自転車駐車場の確保

- ・高架下などを利用した新たな自転車駐車場の整備
- ・買い物時の一時利用を検討



# まちづくりの検討を進める上での前提条件

## ■西武新宿線の連続立体交差化

西武池袋線（石神井公園駅付近）の例にみられる様に、都内で行われている連続立体交差化の多くは鉄道の高架化により実施されていることから、当地区においても、まずは高架化を前提にまちづくりの検討を進めていきます。



【事例】西武池袋線（石神井公園駅付近）連続立体交差事業 ※東京都HPより引用

## ■都市計画道路補助 230 号線の整備

平成28年3月策定の「都市計画道路の整備方針（第四次事業化計画）」において、補助230号線を今後10年間で優先的に整備すべき路線（優先整備路線）として選定しました。補助230号線は、広い歩道や街路樹が整備された駅へのアクセスルートとなる計画幅員16mの都市計画道路です。

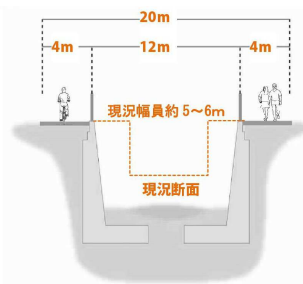


【事例】都市計画道路補助132号線（幅員16m、練馬区石神井町二丁目付近）

## ■石神井川の河川改修事業

石神井川では、1時間あたり50mmの降雨に対応するため、東京都が川幅を広げる工事を実施しています。

武蔵関駅周辺では、今後、川幅を12mまで広げ、その両側に幅員4mの河川管理用通路が設けられる予定です。



※石神井川河川整備計画（東京都）をもとに作成

## 今後の推進会の予定

### 第7回推進会：平成28年10月

- 武蔵関駅周辺まち歩き

### 第8回推進会：平成28年12月

- 水とみどり、景観について

### 第9回推進会：平成29年2月

- 推進会の検討のまとめ

今後も左記の日程で推進会を開催する予定です。

推進会における検討内容は随時「まちづくりかわら版」などでお知らせしていきます。



## お問い合わせ先

【事務局】 練馬区 都市整備部 西部地域まちづくり課

電話：5984-1278（直通）

担当：内藤、山口、橋本、大藤、林